

## 1. 附属図書館、環境・情報科学館及び数理・データサイエンス館の学習支援環境の整備・支援 (和気・森本)

2020年度に引き続き、オンライン授業の実施にともない、サポートデスクではオンラインでの相談対応を行った。結果として130件の学修相談に対応し、本学のオンライン授業の円滑な遂行に貢献できた。

並行して、3Dカメラ Matterport を用いた情報ライブラリーセンターの館内3D撮影を進めた。Matterport で撮影した施設や空間は、いわゆるウォークスルー（仮想空間を、実際にその中にいる人物の視点で自由に動きまわって眺めることができる表現手法のこと）が可能である。この取り組みにより、バーチャル館内ツアーや書庫ツアーへの活用、貴重書室の資料の解説文・解説動画・デジタル化した資料のリンク付与、図書館へのアクセシビリティの向上が期待できる。

本事業で得た知見の他学への共有、活動のPR、先進事例の把握の目的で、大学ICT推進協議会 (AXIES) 年次大会にて企画セッションを行った。

## 2. 学術情報リテラシー支援 (長澤)

①大学教育における教員と図書館員の連携をテーマとする図書館情報学に関する研究論文のレビューをもとに教員と図書館員の連携に影響を与えるアプローチや条件のマップを作成し、2021年9月に実施された図書館情報学関係の国際学会 (ECIL 2021, オンライン開催) で口頭発表した。②国外の大学教育における教員と図書館員の連携構築に関するケース・スタディとして、フィンランドのアアルト大学の関係者にオンラインによる聞き取り調査を行い、その成果を論文 (short paper) として図書館情報学関係の国際学会 (CoLIS 11) に投稿した (採択済)。2022年5月に口頭発表する準備を進めている。③三重県内の高等教育機関の図書館における情報リテラシー教育の現状調査について、情報リテラシー教育を含む図書館サービスに関する研修の現状とニーズを中心に電話による聞き取り調査を3機関に実施した。ここで得た情報を、図書館職員のためのスタッフ・ディベロップメント (事業4を参照) の企画・実施に活用した。④これまでの文献調査等の成果をもとに教養教育 (教養基盤科目) 「データサイエンスI」の「大学生に求められる情報リテラシーと図書館」の授業回を設計し、2022年度の実施の準備を進めている。

## 3. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究 (吉丸・中川)

三重大学附属図書館所蔵の和古書の調査と整理を行った。未整理和古書のOPACへの登録のため、和古書の実物をみてデータベースの作成を実施した。学術アドバイザーの中京大学中川豊准教授とともに2022年3月24日25日に調査を行った。30点ほどのカードデータを作成した。

## 4. 図書館職員のためのスタッフ・ディベロップメント (長澤)

①図書館関係者との相談をもとに、コロナ禍により 2020 年度にひき続いて、三重大学情報ライブラリーセンター内における図書館職員のためのスタッフ・ディベロップメント (SD) の実施を見送った。②名古屋大学附属図書館、岐阜大学附属図書館と共催した図書館職員のための大学間連携型スタッフ・ディベロップメントとして学術情報リテラシー教育研修「教員との連携を考える」を企画しオンラインで実施した (2022 年 3 月 8 日, 参加者 25 名, うち三重大学情報ライブラリーセンターからは 3 名)。三重県内の高等教育機関の図書館にも研修への参加を呼びかけ、皇學館大學から 1 名の参加者を得た。研修後には当日の講義動画や資料を名古屋大学、岐阜大学、三重県内の高等教育機関の図書館関係者と共有した。③図書館サービス WG については、そのあり方を情報ライブラリーセンター内の現状のエフォートをもとに再検討し、廃止することを決定した。WG におけるこれまでの検討事項については、情報ライブラリーセンターの各業務内での検討事項とし、必要に応じて SD や Teams において検討することとなった。④情報ライブラリーセンターの 1 階の壁面を用いて学内の学習・研究成果を発信する学内の他部局との連携プログラムについては、2019 年度の提案後の状況の変化等も考慮しながら、実現の可否について検討することになった。

#### 室員の活動

##### 【地域貢献】

- ・長澤多代 桑名市教育委員会 桑名市立図書館 図書等選定審査委員 (副委員長)

##### 【外部資金による研究】

- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携：アアルト大学のケース・スタディをもとに」〔研究代表者〕科学研究費補助金・基盤研究 C, 2019 年度～2021 年度 (19K12713)
- ・長澤多代「正課教育と正課外教育をつなぐ学習支援に関する総合的研究」〔研究分担者〕(研究代表者：山口大学教育・学生支援機構 林透) 科学研究費・基盤研究 C, 2020 年度～2023 年度 (20K02969)

##### 【研究発表 (口頭発表)】

- ・森村吉貴, 近堂徹, 尾崎拓郎, 森本尚之「どうする!? AI チャット bot -大学ヘルプデスク担当者とサービス提供企業の本音トーク-」, 大学 ICT 推進協議会 2021 年度 年次大会, 2021.12.15.
- ・NAGASAWA Tayo. "Building collaboration between academics and librarians in higher education", 1st PhD-day, Department of Archivistics, Library and Information Science, Oslo Metropolitan University (online), Oslo, Norway, 2021.6.1.
- ・NAGASAWA Tayo. "A mapping literature review of teaching faculty-librarian collaboration in higher education", (Paper) The seventh European Conference of Information Literacy (ECIL), online, 2021.9.22.
- ・NAGASAWA Tayo. "Collaboration between academics and librarians in information literacy instruction", Research Seminar, Information Studies, Faculty of Social sciences, Business and Economics, Åbo Akademi (online), Turku, Finland, 2022.1.24.

##### 【招待講演】

- ・長澤多代「大学図書館の学習支援」〔研修（講師）〕筑波大学附属図書館，令和3年度大学図書館職員長期研修，筑波大学オンライン，2021.7.15.
- ・長澤多代「機関を対象としたケーススタディの方法論」第3回コンセプトベースドカリキュラム研究会，日本高等教育開発協会，オンライン，2022.1.24.
- ・長澤多代「学術情報リテラシー教育のための教員と図書館員の連携」／堀友美「名古屋大学附属図書館における情報リテラシー教育の実践：教員と連携した取組みを中心に」，学術情報リテラシー教育研修「教員との連携を考える」，主催：名古屋大学附属図書館，共催：岐阜大学附属図書館／三重大学情報ライブラリーセンター，名古屋大学（オンライン），2022.3.8.

#### 【その他】

- ・吉丸雄哉「図書館サービス概論」（人文学部司書課程科目）の受講生による「本の福袋」の企画・実施
- ・森本尚之 大学ICT推進協議会 (AXIES) ユーザーコミュニケーション部会 副査
- ・長澤多代 国立国会図書館『カレントアウェアネス』編集企画員
- ・長澤多代 一般社団法人大学教育学会 広報委員会委員
- ・長澤多代 情報メディア学会 編集委員会 編集委員